

令和５年度 事業報告

本 部（法人）関 係

１ センター（あい丹後）を取り巻く状況等

当センターは、昭和５０年４月の開館以来４９年にわたり、視覚障害者の「豊かな生活」の実現を目指し、運営に努力しているところです。

令和２年１月に国内で初めて確認された新型コロナウイルス感染症により外出を控えるなど自粛モードが続いていたところですが、令和５年５月に２類から５類に移行し、日常の生活が戻りつつあった中で、令和５年度は前年度に続き回復基調にあり福祉サービスの利用も増加しました。

こうした中で、関係市町や関係団体と連携を進めるとともに、ボランティアの協力や後援会の支援等も得ながら、点字図書館業務の充実や音訳・点訳ボランティアの養成、家庭訪問等による相談事業の実施、同行援護事業の運営など、スムーズな事業実施に努めてきたところです。

今後もこれまでの取組をベースに、関係機関との連携をさらに強化し、多様化する様々なニーズを汲み取り、視覚障害者の自立と社会参加による福祉の向上を目指して、事業の実施に努めてまいります。

２ 評議員会、理事会、監査会の開催状況

（１）評議員会

①第１回 令和５年５月２４日（水）

△ 議 長 柴田 隆行

△ 議事録署名人 門田 勝幸、平岡美恵子

△ 出席評議員 １７名

△ 議 題

１ 令和４年度事業報告並びに事業決算について

２ 理事及び監事の選任について

△ 報告事項 ２項目

②第２回 令和５年１１月２９日（水）

△ 議 長 尾崎 泰樹

△ 議事録署名人 小池 美鈴、渡辺まさ枝

△ 出席評議員 １６名

△ 議 題

１ 令和５年度事業（中間）報告について

△ 報告事項 ３項目

③第3回 令和6年3月22日(金)

△ 議長 柴田 隆行

△ 議事録署名人 門田 勝幸、大西 康子

△ 出席評議員 16名

△ 議題

1 令和5年度資金収支補正予算について

2 令和6年度事業計画並びに予算について

3 施設長の選任について

△報告事項 1項目

(2) 理事会

①第1回 令和5年5月11日(木)

△ 議長 中村 基彦

△ 出席理事 10名

△ 出席監事 2名

△ 議題

1 令和4年度事業報告並びに事業決算について

2 評議員選任・解任委員会の外部委員の選任について

3 評議員選任・解任委員会に推薦する選任候補者及び解任について

4 評議員会に提出する理事及び監事候補者について

5 令和5年度第1回評議員会の開催について

6 日常生活用具等物品貸出規程の改正について

②第2回 令和5年5月24日(水)

△ 議長 小西和一郎

△ 出席理事 10名

△ 出席監事 2名

△ 議題

1 理事長の任期満了に伴う改選について

③第3回 令和5年11月7日(火)

△ 議長 中村恵美子

△ 出席理事 8名

△ 出席監事 2名

△ 議題

1 令和5年度事業(中間)報告について

2 図書館運営委員の選任について

3 図書館利用者サービス実施要綱の改正について

4 令和5年度第2回評議員会の開催について

△報告事項 1項目

④第4回 令和6年3月7日(木)

△ 議長 毛呂 敏弘

△ 出席理事 10名

△ 出席監事 1名

△ 議題

- 1 令和5年度資金収支補正予算について
- 2 令和6年度事業計画並びに予算について
- 3 苦情解決処理要領に規定の第三者委員の選任について
- 4 令和5年度第3回評議員会の開催について
- 5 施設長の選任について

(3) 監査会

令和5年4月28日(金) (決算監査)

3 施設の利用状況

年 度	回 数	延人員
令和5年度	307	950
令和4年度	271	832
差 引	36	118

4 相談事業

- (1) 日常生活用具等の相談(プレクストーク、拡大読書機、白杖、音声腕時計等)
- (2) 行政手続きなどの相談
- (3) 視覚障害者団体(グループ)などの事業実施に係る相談
- (4) 困り事・悩みなどの相談

○相談員活動実績

市町	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	与謝野町	伊根町	京丹後市	計
対象者	7	9	19	9	8	1	16	69
訪問数	20	35	47	19	27	2	55	205

5 日常生活用具の斡旋等

視覚障害者の皆さんから要望される用具の斡旋や所有している用品の貸出、取扱指導などを行いました。

6 視覚障害者団体などとの連携

- (1) 公益社団法人京都府視覚障害者協会や地域視覚障害者団体との連携
理事会や評議員会などの主な会議及び事業の実施にあたっては、京都府視覚障害者協会との連携を図り、事前に協議するなど円滑な実施に努め、地域視覚障害者団体行事への参加や事業の実施についての協力を行いました。

◎定期総会 京丹後市視覚障害者協会 令和5年4月15日(土)

(2) 京丹後市福祉サービス事業者協議会への参加

京丹後市の全ての市民の福祉の向上のため、市内の福祉サービス事業者の連携と協調を図るとともに福祉の拡充強化を図り、併せて地域福祉の向上と増進に寄与することを目的に、京丹後市の呼びかけで平成17年10月に設立された「障害者福祉部会」に所属し、月1回の定例会や講演会等に参加しました。

(3) 民生児童委員との連携

地域の身近な相談者である民生児童委員に視覚障害者への理解をより深めてもらうため、協議会研修会に当事者講師と職員を派遣。

- ・ 久美浜町民生児童委員協議会 令和5年11月20日（月）
- ・ 網野町民生児童委員協議会 11月22日（水）
- ・ 峰山町民生児童委員協議会 12月 6日（水）
- ・ 丹後町民生児童委員協議会 令和6年 2月27日（火）

7 障害者福祉教育への協力

(1) 学校への講師の斡旋と派遣

点字体験等：小学校1校 83名参加

(2) 夏休み親子点字教室

- ・ 開催日：令和5年8月10日（木）
 - ・ 参 加：13家族 33人
- ※京都新聞に掲載

8 消防・防災訓練と設備等の点検

(1) 消防・防災訓練 2回（消火・通報・避難訓練）

令和5年11月27日（月）及び令和6年3月6日（水）

(2) 設備の点検

- ①自主点検（職員実施）2回 ②業者設備点検 1回

9 顕 彰 （推薦を含む）

(1) センター顕彰規程による受賞者（感謝状）

- 点訳奉仕者 高田 雪枝 氏（宇治市）
- 音訳奉仕者 楠井 智子 氏（宇治市）

(2) 日本盲人社会福祉施設協議会（感謝状）

- 点訳奉仕者 東 澄江 氏（宇治市）
- 音訳奉仕者 小谷 恭子 氏（亀岡市）

10 広報活動

- (1) 「点字図書館だより」の発行 年1回
- (2) 「ボランティア通信」の発行 年6回(偶数月)
- (3) ホームページの運用
- (4) 行政機関等が発行する広報誌への講習会等の開催広報
- (5) 後援会組織による活動

11 センターの実施事業や障害者福祉の理解促進

- (1) センターの役割や機能、実施事業等を多くの方に知ってもらうとともに、視覚障害者の福祉向上を図ることを目的として、「桃山の里ふれあいフェスタ2023」に参加しました。
 - ・参加日時 令和5年6月11日(日) 午前10時～午後2時
 - ・会場 網野体育センター、多目的広場
 - ・内容 タンDEM自転車の体験、古本販売、施設・相談事業・同行援護事業のパンフ配布等によるPRなど
- (2) 「知ってみませんか!! 見えないこと・見えにくいことって どんなこと?」の実施
 - ・日時 令和5年11月12日(日) 午後2時～4時
 - ・会場 加悦谷ショッピングプラザ ウイル
 - ・共催 京都府視覚障害者協会与謝支部
 - ・後援 与謝野町
 - ・内容 点字体験、視覚相談、目の不自由な方の便利グッズ展示と体験など。施設パンフ・相談パンフ等の配布
- (3) 丹後で福祉とアートをつなぐ「TANGO まるっぽ美術館」への参加
 - ・開催期間 令和5年11月7日(火)～12月20日(水)
 - ・会場 セントラーレホテル京丹後をメイン会場として、京丹後市3会場(大宮町、弥栄町、丹後町)の計4会場で開催
 - ・主催 丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会
 - ・内容 メイン会場で実施される展覧会(11月17日(金)～19日(日))での視覚障害者による作品の展示。メイン行事が開催される11月18日(土)には点字体験ブースの設置と施設パンフ等を配布。

12 センター後援会への支援と協力

令和5年度もセンター事業の円滑な推進が図られるように、財政援助を中心に後援会への支援と協力を求め、一般助成金90万円と特別会員の会費として41.9万円の助成をいただきました。当センターは後援会活動を推進するため、組織強化(会員確保と勧誘)に協力しました。

13 施設管理

(1) 建物の警備

大切な資産を守るため、引き続き、建物の警備(防犯、火災監視)を業務委託しました。

(2) 建物の施設整備・保守管理

本館は平成2年改築後、33年が経過し、老朽化が進む中で、屋根や外壁などの計画的な修繕や維持管理が必要であり、課題となっています。

今年度は、小修繕のみ実施しました。

Ⅱ 情 報 提 供 施 設（点字図書館）関 係

視覚障害者情報提供施設として、点字及び録音図書の製作・整備、図書の貸出・閲覧を行いました。平成22年4月から運用開始された視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」を活用し、視覚障害の方々がより利用しやすく、また、業務の効率化を図るため、データ化した点字図書及び録音図書の登録や点字による即時情報ネットワーク事業などを推進し、視覚障害者への情報提供に取り組んできました。

また、平成25年3月からはサピエと連携する「Web図書館システム」を導入し、図書管理業務の省力化を図っています。

1 音訳奉仕者資格認定審査委員会の開催

音訳奉仕者の資格認定について審査を行い以下の者を認定しました。

北部認定 令和5年12月 4日（月）
令和6年 4月 8日（月）※予定
南部認定 令和5年 4月28日（金）

音訳奉仕者認定者

氏 名	住所地	氏 名	住所地
池田 初子	亀岡市	山下 景子	宇治市
山門美佐穂	亀岡市	森 英美	宇治市
小藪 利恵	与謝野町	松田 由縁	宇治市

2 図書の整備状況

点訳・音訳奉仕者及びCD図書製作奉仕者の協力と支援を得て図書製作、寄贈、購入により図書整備を図りました。

(1) 点字図書・録音図書の整備状況（タイトル数）

区 分	令和4年度 末 蔵書数	令和5年度の整備					令和5年度 末 蔵書数
		目標	購入	製作	寄贈	合計	
点 字 図 書	8,595	130	0	84	62	146	8,741
テ ー プ 図 書	10,144	0	0	0	0	0	10,144
デイジー図書	8,416	320	37	146	97	280	8,696

(2) 点字・CD雑誌の整備状況

区 分	雑 誌 名（種 類）	製作数	読者数	備 考
月 刊	木の芽（俳句雑誌）	12	30	CD
隔月刊	図書だより（図書紹介）	6	40	CD
			20	メール
			30	点字

季 刊	てんてん小町 （総合情報誌）	4	4 0	点字
月 刊	広報京丹後おしらせ版 （京丹後市受託事業）	1 2	1 5	CD（デージー）
			4	CD（一般）
月 刊	広報京丹後 （京丹後市受託事業）	1 2	1 5	CD（デージー）
			5	CD（一般）

3 図書の貸出状況

(1) 点字図書・録音図書の貸出状況

区分 年度	点字図書	録音図書 （テープ）	CD 図書 （デージー）	合 計
令和5年度	630	89	6, 371	7, 090
令和4年度	584	154	6, 670	7, 408
前年度比較	46	△65	△299	△318

(2) 「サピエ図書館」の点字・デージーデータダウン状況

区分 年度	点字図書 ダウン回数	デージー図書 ダウン回数	備考
令和5年度	2, 4 9 6	6 5, 5 5 0	デ ィ ー ジ ー 図 書 は、再生を含む。
令和4年度	2, 8 5 8	6 4, 1 3 0	
前年度比較	△ 3 6 2	1, 4 2 0	

4 「障害者の明るいくらし」促進事業

ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、誰もが明るく暮らせる社会づくりを促進することを目的として、京都府から委託を受けて実施している事業です。

(1) 点字による即時情報ネットワーク事業（点字ＪＢニュースの提供）

<利用者>

○重度視覚障害者 点 字 版 2 1 人（内、京都ライトハウス分9人）

メール版 4 3 人（内、京都ライトハウス分4 0 人）

○公共図書館閲覧用 点字版3 5 館（内、京都ライトハウス分1 8 館）

なお、音声による情報提供システムにより点字ＪＢニュースが聞けます。

全国共通電話番号（0 5 7 0－0 2 1 8 0 2）（有料：1 分間約10 円）

(2) 音訳奉仕者の養成と育成

① 朗読奉仕員養成講習会（京都府委託）

	開催日	会 場	受講者数	講師・テーマ
南部	7月 4日～ 9月 15日	宇治市生涯学習センター	6名	○講師 栗山由紀子氏 （フリーアナウンサー） ＜テーマ＞ ・朗読の基礎知識及び発声 ・基礎の文章から応用文まで
北部①	9月 8日～ 10月 31日	あい丹後	2名	
北部②	令和6年 2月 5日～ 3月 15日	あい丹後	6名	

② 音訳奉仕者デジタル録音（編集）及び育成研修会

日時	会 場	参加者	内 容
4月 12日	あい丹後	18名	ノイズ処理、ページ付けの注意点など
4月 17日	ひと・まち交流館 （京都市）	29名	
10月 12日	あい丹後	15名	
令和6年 3月 28日	宇治市生涯学習センター	32名	

③ 令和5年度新人デジタル録音講習会

開催日	会 場	参加者	内 容
10月 20日 21日	宇治市生涯学習センター	6名	専用ソフトの操作 図書の作り方・処理の仕方

④ 北部・南部音訳ボランティアレベルアップ講習会

日時	会 場	参加者	内 容
4月 12日	あい丹後	18名	ノイズ処理、ページ付けの注意点など
4月 17日	ひと・まち交流館 （京都市）	29名	
10月 12日	あい丹後	15名	講師：職員 ・PC操作でのソフトの注意点など ・図書の作り方
令和6年 3月 28日	宇治市生涯学習センター	32名	

5 点訳講習会等

① 点訳ボランティア養成講習会《入門&体験コース》

開催日	会 場	受講者	講師・テーマ
9月 8日～ 10月 6日 （5回）	宮津阪急ビル （ミップル）	3人	○講師 職員 ＜テーマ＞ ・初心者を対象とした点訳の初歩

② 点訳ボランティア養成講習会《基礎コース》

開 催 日	会 場	受講者	講師・テーマ
10月18日～ 12月 8日 (7回)	宮津阪急ビル (ミップル)	3人	○講師 職員 ＜テーマ＞ ・点字図書制作のための点訳の基礎

③ 点訳ボランティア育成研修会

開 催 日	会 場	受講者	講師・テーマ
12月 5日	あい丹後	13人	○講師 職員 ＜テーマ＞ ・『点訳のてびき第4版』第1～3章 の補足説明

④ 点訳ボランティア・ステップアップ研修会

開 催 日	会 場	受講者	講師・テーマ
令和6年 2月29日	あい丹後	8人	○講師 職員 ＜テーマ＞ ・点訳奉仕員＜基礎＞認定試験の問 題と解答例

＜参考＞ ボランティアの現況（令和6年3月末現在）
(人)

点 訳	音 訳	編 集	合 計
87	79	0	166

6 研修会・全国大会等への参加

- 2023年度音声版選挙公報製作研修会 (Zoom) 5月26日
- 2023年度サピエ研修会 (Zoom) 7月6日～7日
- 第7回京都ロービジョンネットワーク研修会 (Zoom) 11月23日
- 2023年度目録研修会 (Zoom) 令和6年1月25日

Ⅲ 同行援護事業関係

視覚障害者の外出の保障については、平成24年5月から障害者自立支援法による自立支援給付（障害福祉サービス）の指定同行援護事業所「丹後ガイドセンター」として「同行援護」＜①視覚的情報の支援（代筆・代読）②移動援護③排泄、食事等の介護＞の事業所指定を受け、京丹後市、宮津市、伊根町及び与謝野町の視覚障害者へサービスを提供しています。

令和5年度も視覚障害者の自立と社会活動への参加を促進し、福祉の増進を図るために関係行政機関等とも連携して、登録同行援護従業者の協力を得ながら、人権を尊重し、安心して安全な「同行援護」の提供に努めつつ、利用実績の確保に努めてきました。

また、令和4年11月からは有償福祉送迎事業を実施されているNPO法人と連携し、京丹後市内において、ガイドヘルパーが福祉有償運送のドライバーを兼ねることにより、効率的な移送と同行援護サービスの一体化を図ることを目的とした事業に取り組んでいます。

1 同行援護事業の実施状況

(1) 利用者契約の状況と事業収入（各年度末現在）

区 分	令和5年度	令和4年度	比較増減
利 用 契 約 者 数（人）	42	42	0
ガイドヘルパー登録数（人）	38	37	1
事 業 収 入（千円）	12,647	11,069	1,578

（注）事業収入は、個人負担分を含む。口座引落手数料は、事業所負担。

(2) ガイドヘルパー稼働状況

区 分	令和5年度	令和4年度	比較増減	備 考
回 数（回）	1,023	987	36	
活動時間（時間）	5,659	4,839	820	

(3) 市町別利用の状況

（単位：件）

市 町 別	令和5年度	令和4年度	比較増減	備 考
京 丹 後 市	873	854	19	契約者31名
宮 津 市	75	64	11	2名
伊 根 町	0	0	0	2名
与 謝 野 町	75	69	6	7名
合 計	1,023	987	36	42名

2 研修会等の開催

○虐待防止委員会とガイドの集い

- (1)実施日 令和5年10月12日(木) 午後1時30分～4時
- (2)参加者 従事者7名、サービス提供責任者1名
- (3)会 場 丹後視力障害者福祉センター2階和室
- (4)内 容
 - ①虐待防止研修会(オンライン形式) 午後1時30分～3時
「障害者虐待の防止について」
～より良い支援を提供できる支援者&事業所になろう～

講師：社会福祉法人よさのうみ福祉会
障害者支援センター結
与謝野町障害者相談支援事業所結
管理者 坂根 由美子 氏
(丹後圏域自立支援協議会ゼネラルマネージャー)

- ②ガイドヘルパーの集い 午後3時10分～4時
・日頃のガイドについての意見交換・交流会

○同行援護研修会

- (1)実施日 令和5年10月17日(火) 午後1時30分～3時
- (2)参加者 従事者13名、職員2名(施設長、サービス提供責任者)
- (3)会 場 丹後視力障害者福祉センター2階研修室
- (4)内 容
「実技(基本のふりかえり)と電車利用の際の切符購入について」

講師：公益社団法人京都府視覚障害者協会
京視協ガイドヘルプステーション
主任 岡本 愛子 氏(実技)
係長 辻 智子 氏(切符購入)

○虐待防止・身体拘束適正化委員会

- (1)実施日 令和6年3月18日(月) 午後1時30分～2時30分
- (2)参加者 第三者委員2名、ガイドヘルパー1名
職員2名(施設長、サービス提供責任者)
- (3)会 場 丹後視力障害者福祉センター2階研修室
- (4)内 容
「報告とセルフチェックリスト集計内容について」